

4

**みんなで作る
安心なまち**

① 消防・救急体制の充実

滝川地区広域消防事務組合負担金

1億7680万円

(担当：総務課総務グループ)

消防組織の維持・充実のため、滝川地区広域消防事務組合（一部事務組合）を組織し、その運営経費を各市町で負担しています。

平成26年度からは、滝川市、雨竜町、本町の構成に、新たに赤平市と芦別市が加わり、5市町で構成する組織になりました。

主な支出は、消防職員の人件費、消防署庁舎の維持管理経費、消防団の運営経費、消火栓などの消防施設の整備更新費、消防車両の維持管理経費、救急救助資機材の購入費などです。

平成26年度は、第4分団（大和地区）の消防ポンプ車の更新と老朽化した消火栓6基の更新を行いました。



② 防災体制の充実

地域防災力の強化

362万円

(担当：災害対策事務局)

いつ起こるか分からない災害に備えるため、住民の意識の高揚と体制整備を進めました。

○災害発生時に地域のリーダーとして活躍できる人材の育成を図るため、「防災士」の資格取得者9人に対し研修費用の全額を助成しました。

○大学の先生を招き、災害に対して自分はどういう備えをしているか、していないかに気づき、家庭での防災対策をテーマに、地域の防災マップを作成する研修を開催し、住民74人が参加しました。

○すでに耐震性を有している行政区自治会館（中央・青葉・徳富）に、停電時でも速やかに発電機で照明やストーブの電源が確保できるように発電機専用のコンセントやLED照明を整備しました。大和区自治会館にも大規模改修時にこの機能を整備し、そのほかの会館については、耐震改修にあわせて行う計画です。



防災研修



青葉区会館（発電機接続状況）

<財源内訳>

| | |
|------------|-------|
| 加盟団体からの負担金 | 30万円 |
| 町の負担 | 332万円 |

排水機場の管理

1381万円

(担当：建設課土木グループ)

大雨による石狩川の水位上昇により、堤防内(私たちが住んでいる側)の河川の排水機能がストップした時に、ポンプで強制的に排水する施設が町内に7カ所あります。

万が一の水害に備え、いつでも迅速に施設を稼働できるように、水防団員による設備の設置訓練を行うとともに、機器の点検・運転や施設周辺の草刈りを行いました。

<財源内訳>

| | |
|--------|-------|
| 国の補助金 | 187万円 |
| 道の補助金 | 466万円 |
| 浦臼町の負担 | 82万円 |
| 町の負担 | 646万円 |

防災無線の管理

349万円

(担当：建設課土木グループ)

防災行政無線は、皆さんへ速やかな情報伝達と情報共有が図られるよう、平成9年度から運用しています。

設備の機能を維持するため、保守点検を行うとともに、個別受信機を新たに40台購入しました。

<財源内訳>

| | |
|------|-------|
| 助成金 | 156万円 |
| 町の負担 | 193万円 |



③ 生活安全体制の充実

中央市街地街路灯の更新・新設

4680万円

(担当：住民課住民活動グループ)

国道275号沿線にある街路灯は、老朽化により機能低下しており、また未設置区間もあることから、省エネ性能が高いLED灯に更新および新設し、安全安心の明るい町づくりを推進しました。

平成26年度は、菊水区、青葉区内の25基を更新し、青葉区内に13基新設しました。

<財源内訳>

| | |
|-------|--------|
| 道の補助金 | 2330万円 |
| 地元の負担 | 10万円 |
| 町の負担 | 2340万円 |

【平成24年度から平成26年度の実績】

| 年度 | 地区 | 改修 | 新設 |
|-----|-----------------|------|-----|
| H24 | 橋本区、みどり区 | 29基 | - |
| H25 | 中央区、文京区、菊水区、青葉区 | 50基 | 5基 |
| H26 | 青葉区、菊水区 | 25基 | 13基 |
| 合計 | | 104基 | 18基 |



施工前



施工後

安全・安心推進協会の支援 112万円

(担当：住民課住民活動グループ)

町内の交通安全や防犯のために活動する新十津川町安全・安心推進協会へ助成しました。

安全・安心推進協会は、青色回転灯防犯パトロールによる町内巡回や各季の交通安全運動での街頭啓発などを行い、安心して住みよいまちづくりに貢献しました。

【青色回転灯防犯パトロール】

- 隊員数 23人
- 巡回数 延べ207回

【交通安全活動】

- 実施回数 6回
- 参加人数 延べ226人



消費生活問題の解決 138万円

(担当：住民課住民活動グループ)

消費生活トラブルの相談窓口を設け、皆さんからの相談に応じ、解決策を提案しました。

また、インターネットの架空請求や振り込め詐欺、悪質な住宅リフォームなど、複雑なトラブルに関する相談に迅速に対応するため、滝川地方消費者センター（TEL0125-23-4778）にも相談業務を委託しました。

<財源内訳>

- 道の補助金 106万円
- 町の負担 32万円

| 事業 | 決算額 | 事業概要 |
|------------------|-------|-----------------------------|
| 防災体制の充実 | | |
| 災害用備品の管理 | 45万円 | 衛星携帯電話の更新や災害用ベストなどを購入しました |
| 防災センターの管理 | 8万円 | 防災センターの維持管理を行いました |
| 災害救助物資の備蓄 | 8万円 | 保存期限が近づいた備蓄品を更新しました |
| 遭難対策 | 6万円 | 遭難防止の看板を作成し夏季に山に設置しました |
| 樋門樋管の管理 | 96万円 | 北海道から委託を受けた樋門54カ所の管理を行いました |
| 河川の維持管理 | 408万円 | 町管理河川の土砂除去や河川愛護組合の活動を支援しました |
| 徳富川ラブリバー推進協議会の支援 | 13万円 | 河川環境保全活動を行っている団体の活動を支援しました |
| 生活安全体制の充実 | | |
| 中央地区市街地街路灯の管理 | 356万円 | 中央地区に設置している街路灯の管理経費を負担しました |
| 交差点照明の更新 | 334万円 | 交差点照明2基をLED灯に更新し、1基を新設しました |
| 交通安全の推進 | 111万円 | 交通安全の指導などの活動を行いました |